

千葉キャンペーン

2023.12.04

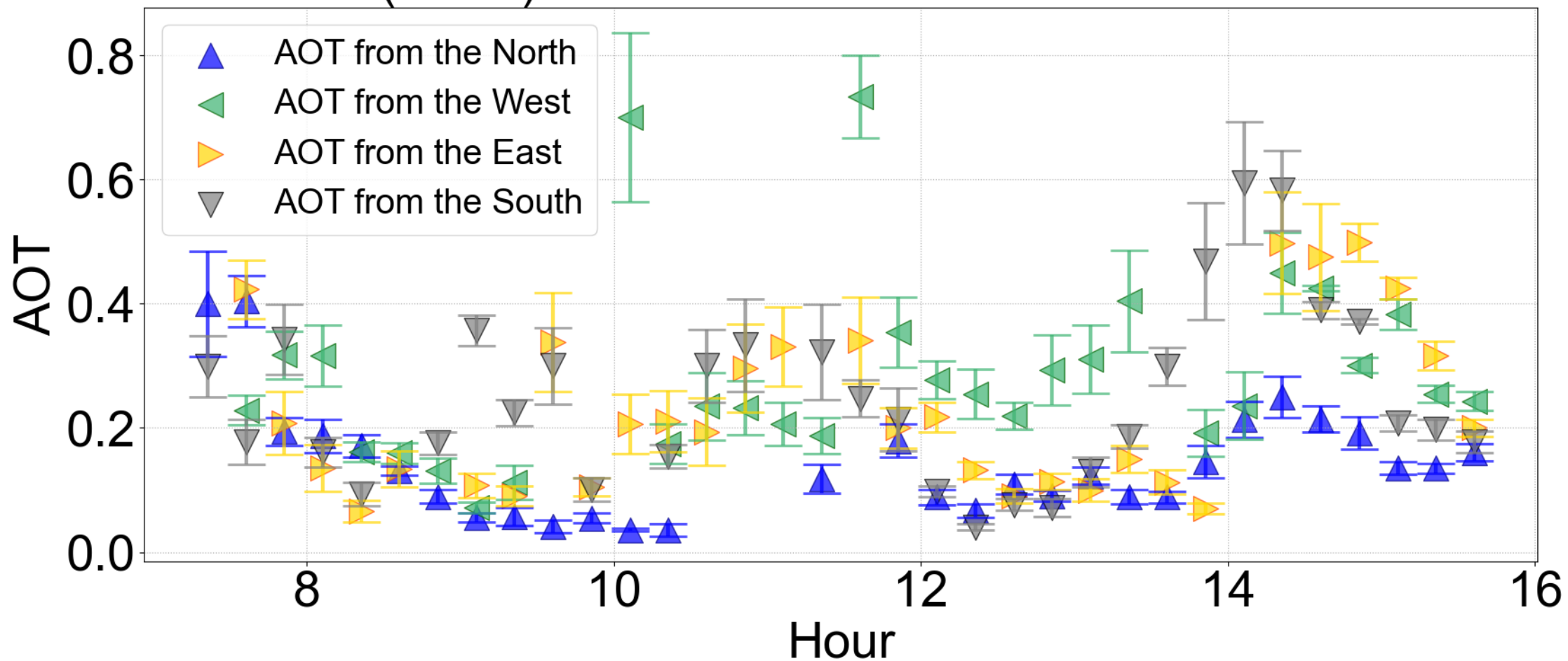
B4 押見敏暉

◎ 12/01~03の千葉サイトを対象。スカイラジオメーターは
CloudFlag=0に絞って解析

【解析したデータ】

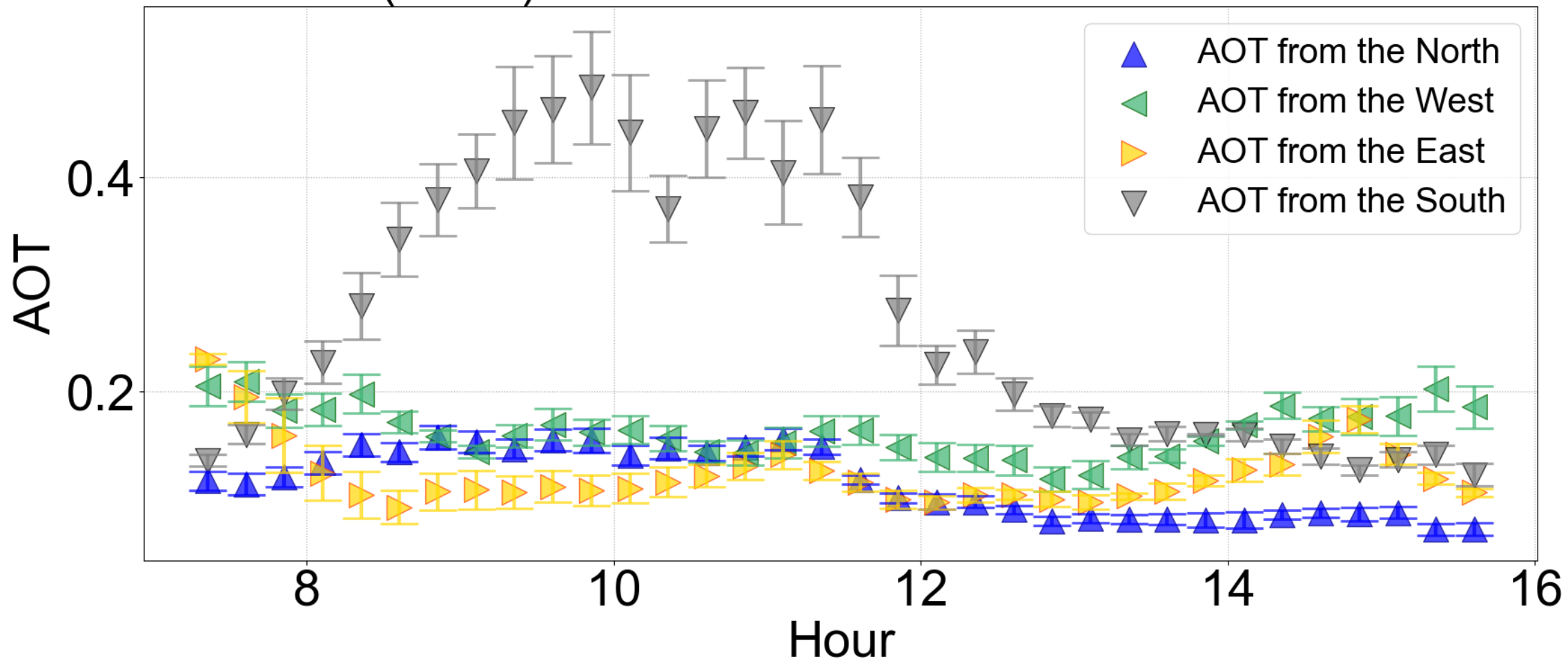
- MAX-DOAS : 4方向のAOT(0.357)を解析
- スカイラジオメーター : SSA(0.380)とAAOT(0.380)とオングストローム指数を解析

AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2023.12.01

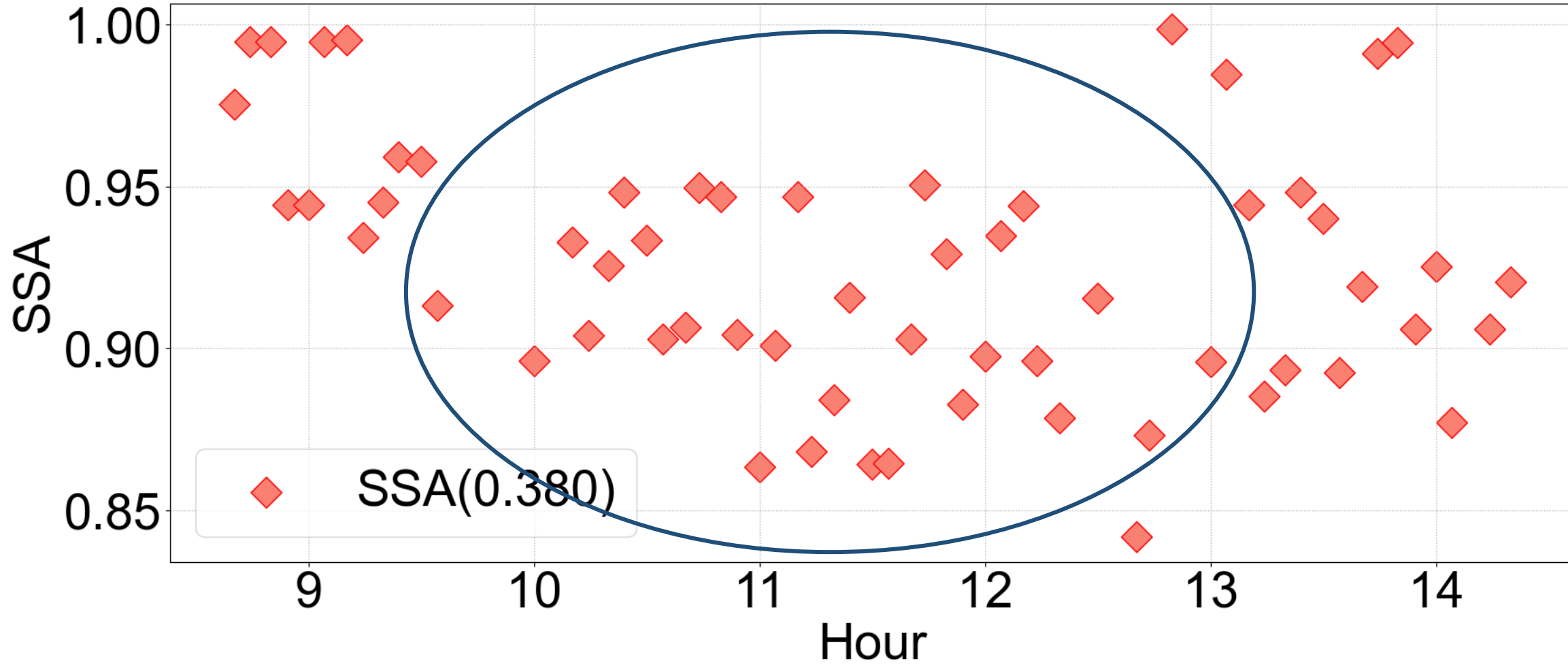


※12/1はスカイラジオメーターのデータが無かったため他のデータは解析していません

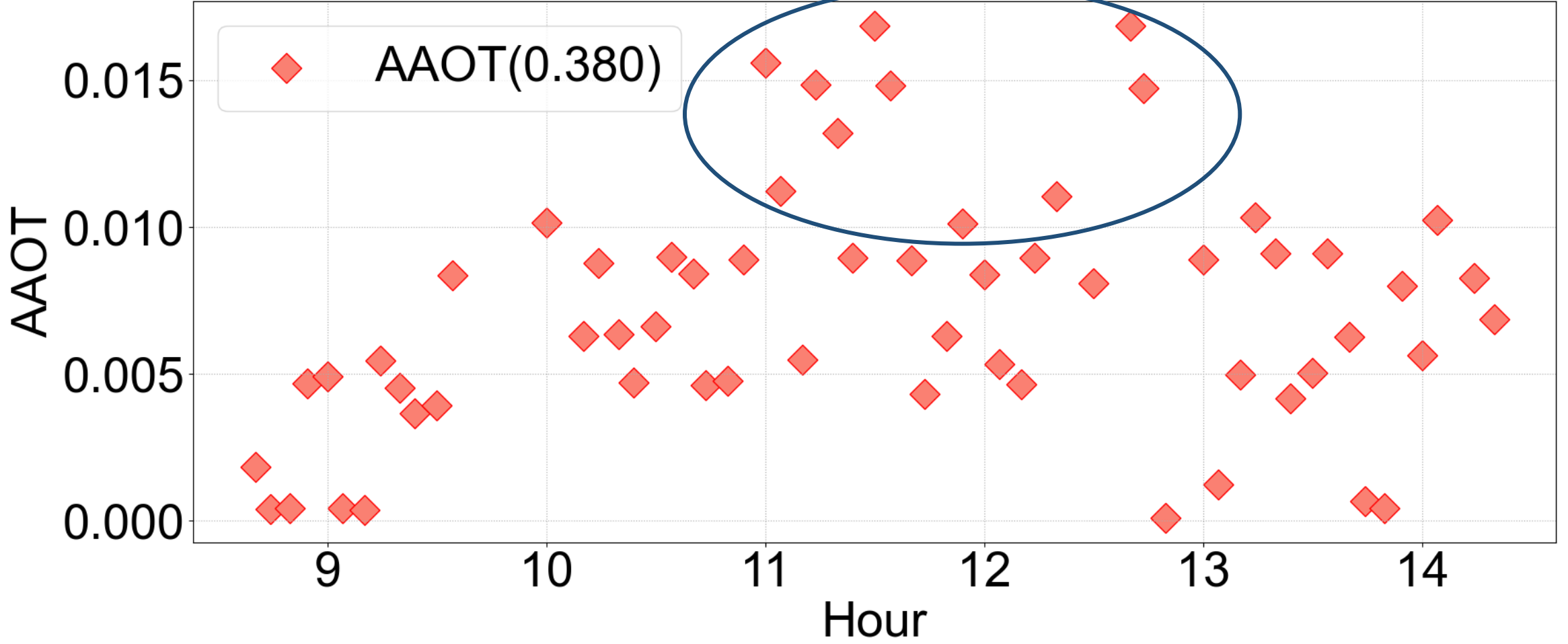
AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2023.12.02



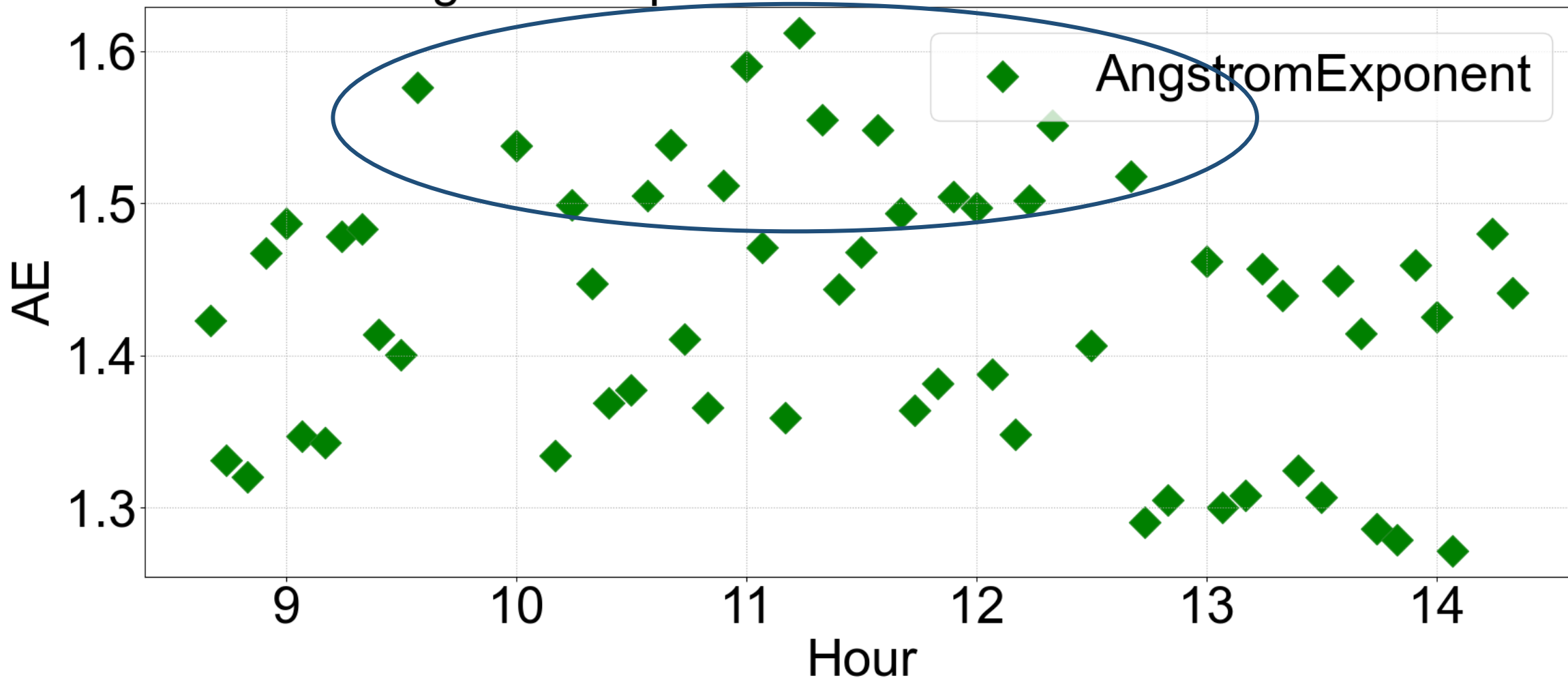
SSA in Chiba for 2023.12.02



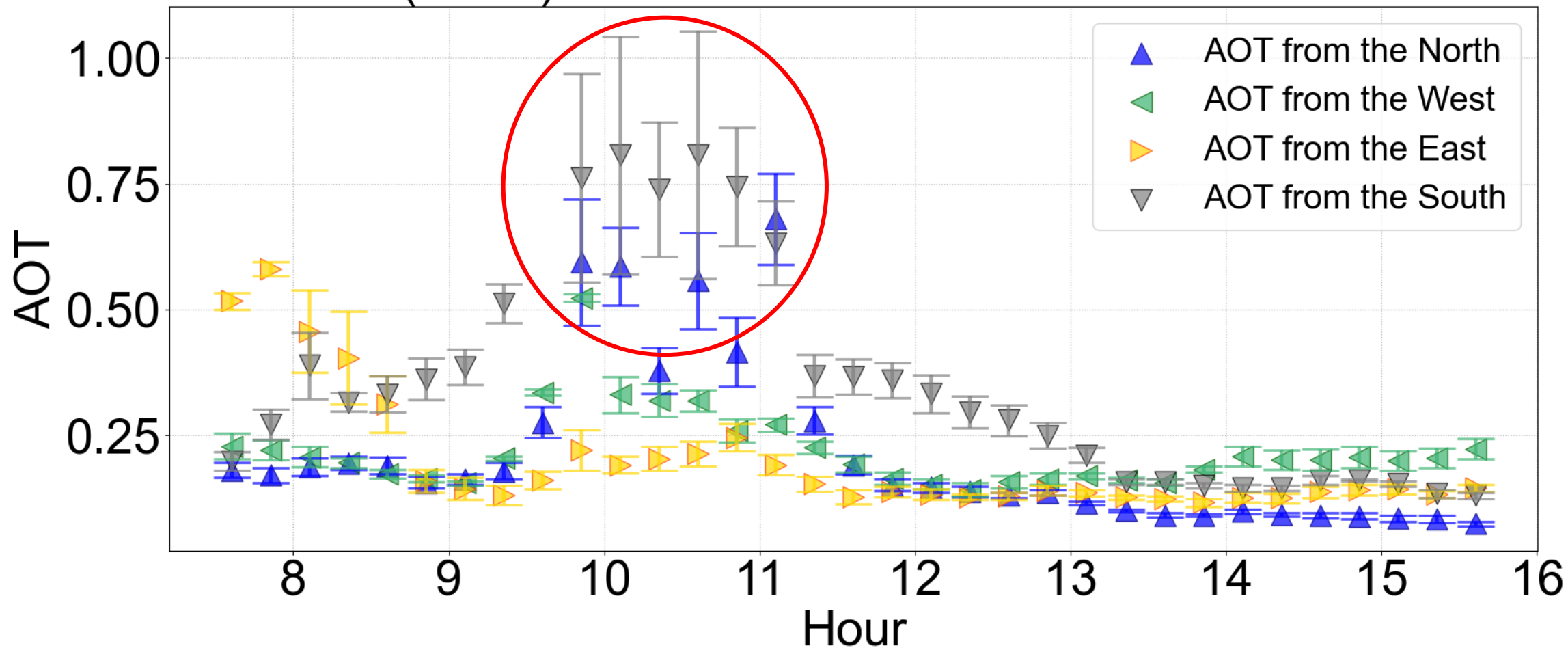
AAOT in Chiba for 2023.12.02



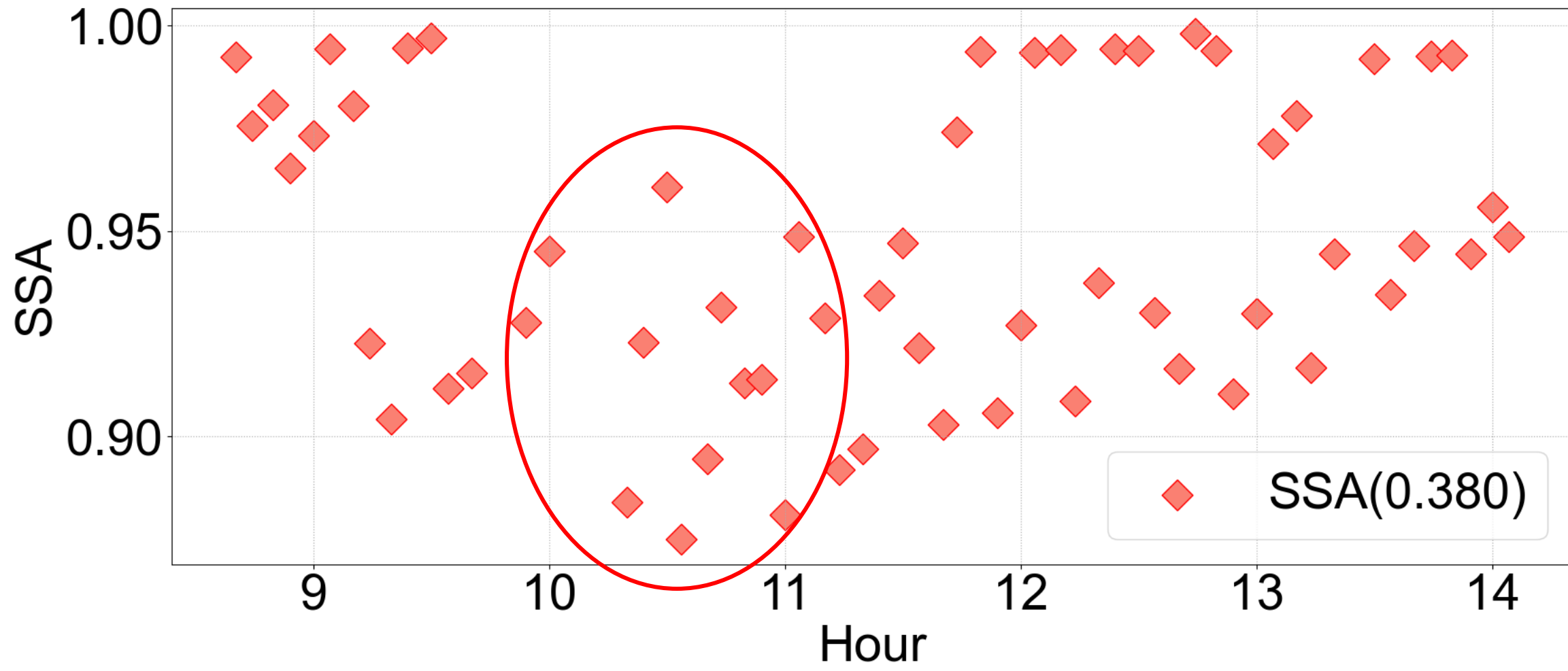
AngstromExponent in Chiba for 2023.12.02



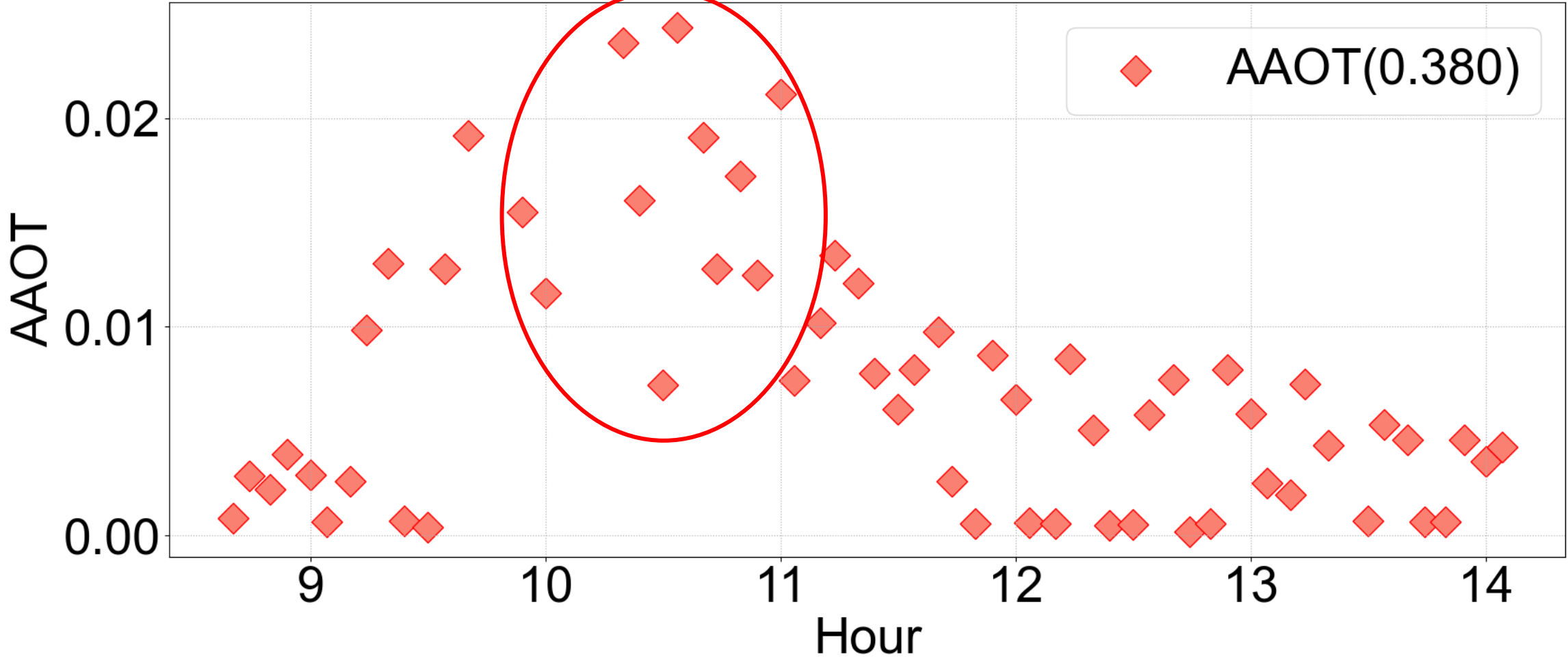
AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2023.12.03



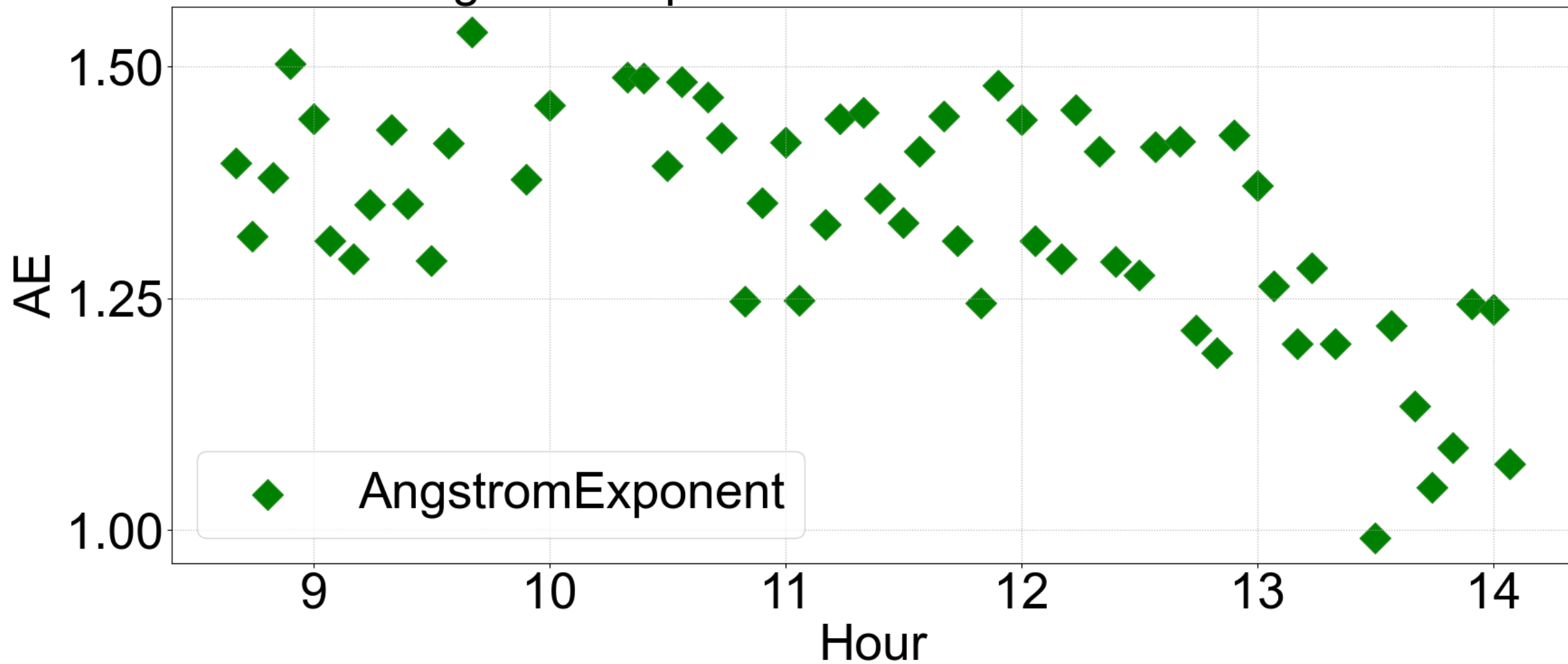
SSA in Chiba for 2023.12.03



AAOT in Chiba for 2023.12.03



AngstromExponent in Chiba for 2023.12.03



【考察】

12/2

- ・ 9時半～13時ごろにかけてオングストローム指数が1.5を超える高い値を示していた。また、1日を通してオングストローム指数は高い値で推移していた。同時間帯の紫外域SSAは比較的低い値、AAOTは高い値だった。
→12月2日、**紫外域で吸収性の持つ人為起源の微小エアロゾルが1日を通して千葉に飛来していた可能性が高い。**

12/3

- ・ 10時～11時ごろにかけて南向きAOT(0.357)はかなり高い値を示していた。また、同時間帯の紫外域SSAは低い値、AAOTは高い値だった。特にAAOTは0.02を超えるほど高い値を示していた時間があった。
→12月3日のお昼前、**南方の工場などから人為起源の光吸収エアロゾルが多く千葉に飛来していた可能性が高い。**